

令和6年度 気象研究所 研究成果発表会



歩み続けて150年  
防ぐ災害・守る未来

～2025年は気象業務開始150周年～

# 頻発・激甚化する 自然災害と向き合う 研究の最前線

参加  
無料

事前申込

日時 **12月17日(火)**  
13時30分～17時30分

開催場所: 気象庁 講堂 **現地参加 先着200名** + オンライン

■お申込みURL

<https://www.mri-jma.go.jp/Topics/R06/061217/Happyoukai2024.html>

どなたでも無料でご参加いただけます。上記URLから事前登録をお願いします。

開催会場: 気象庁 講堂



■会場にお越しの際は、  
公共交通機関をご利用ください。

東京メトロ(日比谷線)「虎ノ門ヒルズ駅」A2a出口より徒歩4分

東京メトロ(日比谷線)「神谷町駅」4b出口より徒歩5分

東京メトロ(銀座線)「虎ノ門駅」2番出口より徒歩10分

東京メトロ(南北線)「六本木一丁目駅」3番出口より徒歩15分

所在地: 東京都港区虎ノ門3-6-9

13:40～

令和6年能登半島  
地震による津波の  
実態解明に向けて

地震津波  
研究部  
南 雅晃



14:10～

アジアモンスーンと  
台風の季節予報に  
関する研究の進展

全球大気海洋  
研究部  
高谷 祐平



14:40～

進化する突風対策:  
AIが描く鉄道安全と  
防災技術の新時代

台風・災害気象  
研究部  
楠 研一



15:25～

令和6年9月に能登半島に  
記録的な大雨をもたらした  
線状降水帯の発生要因

台風・災害気象  
研究部  
末木 健太



15:55～

線状降水帯の機構解明の  
ための洋上ドローンと  
新しい水蒸気観測の  
取り組み

気象観測  
研究部  
瀬古 弘



16:25～

令和6年台風第10号  
～遅い移動速度と  
広域にわたる大雨～

台風・災害気象  
研究部  
和田 章義



16:55～

台風進路・強度予測の  
高精度化を目指した  
最近の研究紹介

応用気象  
研究部  
山回 宗彦



司会: 文化放送 記者・気象予報士  
伊藤 佳子

気象研



■気象研究所公式ウェブサイト

<https://www.mri-jma.go.jp/>



問合せ



気象庁気象研究所

Meteorological Research Institute  
mail/mriseika@mri-jma.go.jp



国土交通省  
気象庁  
Japan Meteorological Agency

主催: 気象庁気象研究所

協力: (一財) 気象業務支援センター

後援: 地球ウォッチャーズ-気象友の会-